

子育てガイド



親子で自由に集えるあそびの広場 子育て支援センター

おひさまひろば(ほほえみの家内) ☎095-855-8551

今月は、ひろばに来ている赤ちゃんファミリーの様子をお伝えします♪

「おひさまひろば、気になっているんだけど、生後何カ月から行けるのかな?」「一人で
おひさまひろば行くのは、ドキドキするな・・・」「うちの子すごく泣いたらどうし
よう・・・」など思っている方、多いのではないのでしょうか?

おひさまひろばには、毎日赤ちゃん和妈妈やパパが遊びに来ています。赤ちゃんの
リズムに合わせてママのリズムに合わせて、タイミングのいい時にいらしてくださいね。

赤ちゃんを囲んで、スタッフや他のママさんやパパさんとおしゃべりしたり、おゆず
りの洋服からお気に入りの洋服を探したり、木のおもちゃや絵本を親子で楽しんだ
り、赤ちゃんはたくさん体を動かして遊んでいます。お家とは違うゆっくりゆったりリ
ラックスタイムを過ごしてくださいね。

泣いちゃっても大丈夫ですよ!スタッフが優しくサポートします!

ミルクや授乳するスペースやおむつを替えるスペースも準備してますので、安心して
きてくださいね♪お待ちしております (*^-^*)



開館日時や
行事の
情報など
詳しくはこちら



～じどうかんでできる
あんなこと こんなこと～

いつものじどうかんでは、こんなこともやっています。くわしくは「大きくなーれ」ホームページ または スタッフまで。

●「子育てトークの日」

子育て相談専門員をまじえたママ同士のおしゃべりの時間です。月1回町内の支援センターで順番に開催していま
す。次回は9月11日(木)10時半からすまいるひろば(長与児童館)にて。

●「図書館コラボ」

図書館司書さんと一緒におはなし会をします。次回は11月18日(火)10時半
からふわりひろば(長与北児童館)にて。

●「小児救命救急: いざというときに」

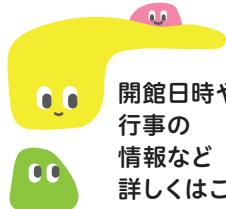
北消防署浜田出張所の隊員の方にいざというときにきつと役立つお話を
伺います。9月26日(金)10時半からすまいるひろば(長与児童館)にて。



このほか、ファミサポの支援(いつもあそんでいるじどうかんで協力会員さんにみてもらえます)、身長・体重の測定
(すすく測定会の日でなくても、5つのじどうかんすべてで、いつでも測
れます)など、ふだんの遊びや行事、子育て相談以外にもいろいろじど
うかんは利用できます。

各センターの開館日や利用時間、イベント情報などは「大きくなーれ」
のホームページからご覧になれます。

また各じどうかん・こども政策課窓口では、紙のおたよりも毎月配布
しています。



開館日時や
行事の
情報など
詳しくはこちら



子育て
支援センター
じどうかん



子育て支援自主サークル

問 こども政策課母子保健係
☎095-801-5881

町には、地域の方が結成した5か所の「子育て支援自主サークル」があります。0歳児から自由に行くことができる遊び場です。絵本の読み聞かせや自由遊びなどを通して、親子で・こども同士で・親同士と一緒に楽しい時間を過ごしましょう♪



つくしんぼ
(サニータウン
南公民館)の様子

開催日・
時間・
おあそび場の
様子はこちら



ファミリーサポートセンター託児 利用料を月2時間補助します！

イオンタウン・株式会社てわざ ×
長与町「cocosukiながよ」

【利用方法】

- ①長与町公式LINEで託児利用予約をする。(要会員登録)
- ②イオンタウンまたはやわら整骨院(株式会社てわざ)で「無料券」(各企業・月先着10人ずつ)を受け取る。
※1世帯 年間5回まで利用可。
- ③サポート後、利用料補助申請を行う。

月先着
20名

制度内容等、
詳しくはこちらを
ご覧ください。



長与町ファミリーサポートセンター▲

2時間無料券



マタニティクッキング

問 こども政策課母子保健係 ☎095-801-5881
申 LINEで予約(登録済みの方は②のみ)

手順①
長与町公式
LINEの登録



手順②
予約



時 10月11日①10時～12時30分
所 ふれあいセンター1階 和室・調理室
内 栄養士による妊娠中の食事に関する講話
保健師による産後サポートに関する講話
クッキング(ごはん、白菜ときのこのシチュー、
スペイン風オムレツ、レンジでりんごのコン
ポート)
定 先着12人程度
料 400円 ☑10月2日②
他 次回は、令和8年
2月14日③予定



子育てランド

No.389

やってみよう!まわしてみよう! 家族でぐるぐる家事タイム♪

家事は大切な家族との“今日”を作ります。ひとりに頼りきらない、協力し合える楽しい家事のポイントを3つご紹介します。普段は面倒な家事も家族で取り組み方を変えれば楽しくすることが出来ますよ。

1. 家族観の共有

家族といえど、家事の「当たり前」が異なるものです。「何でも協力し合える家族」など目指したい家族のカタチを共有し、それをもとにどうやったらみんなが気持ちよく家事ができるかを話し合ってみましょう。

2. 家事の書き出し

家族でどんな家事があるかを書きだしてみましょう。できるならば、「ゴミ捨ては、ゴミ箱に次のゴミ袋をセットしたら終わり」など、家事の終了条件も共有しておく取り組みやすくなりますよ。

3. 子どもを チームの一員に

子どもにとって、お手伝いをすることは喜び。誰かの役に立ったという喜びが子どもの自信や社会性を成長させてくれます。

うまくいかないことがあってもいつも完璧じゃなくてもOK!できるところからご家族で取り組んでみてください。

文責 高田保育所